



市政 報告

2025年
令和7年
VOL.5

市民とともに未来を語る

和泉市議会
無所属会派

市民未来の会

しみんみらいのかい

市民未来の会 2期目がスタート！



令和5年9月に執行された「和泉市議会議員一般選挙」を経て、3人全員が市民の皆様にご信託をいただき、引続き会派を結成することができました。

「市議会で会派を組むことによるメリットとは？」

市民未来の会は、議会ごとに議案に対する「勉強会」等を開催し、行政課題への理解を深め日々議論を重ねています。

個人では気付かないことや情報を共有しながら各自の得意分野を活かし、市民から選ばれた3議員が協力することで、より市民へと還元できることを目的としています。

例年、会派として行政・地域課題をまとめた要望書「市民未来の要望書」を我々の思いを乗せ市長へ提出、今期も令和6年12月20日に提出をいたしました（下記）。

また、早速ではありますが以前より会派で議論している「日本のエネルギー問題」への知見を拡げるため、会派視察を行いました（裏面）。

今期も、議員個人としての活動は勿論のことではありますが、会派としても結束し行政課題や地域コミュニティ等における各種問題に取り組み、子ども達の笑顔があふれる「市民の未来」を考える会派として尽力してまいりますので応援お願いいたします。

市民未来の要望書

○ 和泉市が輝く子どもを育む教育のまちに

- ・子育ての街和泉市を全面的に押し出し、地域総動員で子どもを育てる気風の醸成への具体的取組
- ・子ども関連予算の増額、魅力ある学校整備や特色ある教育へのチャレンジ等
- ・学校給食の安全安心（無農薬・減農薬食品、栄養価の高い食品）の充実や、Gクラウドファンディングやふるさと元気寄附の利用による給食費の軽減
- ・自治会において子どもと高齢者の交流イベント等の提案・補助
- ・いずみ希望塾の各小学校区での実施

○ 北信太駅前整備事業の早期完成とそれまでの交通安全対策

- ・工事予定地等を利用した交通安全対策
- ・交通安全対策について自治会および警察との協議

○ 道路設備等の修繕計画の促進

- ・光明台・鶴山台等旧開発地の老朽化対策
- ・計画・予算・人員の確保 ・道路照明の錆止めの実施
- ・街路樹の適正管理（落ち葉公害・大木化・根上がり）
- ・通勤通学路の自転車専用通行帯（青色レーン）表示

○ 市立小中学校の老朽化対策

- ・老朽化した施設の改修
- ・学校トイレの洋式化促進

○ 和泉市立総合医療センターについて

- ・未来を担う子どものため、なお一層の病病連携・病診連携を図り夜間・休日の小児救急を含めた小児医療支援

○ 和泉市資源ゴミ持ち去り禁止条例の制定

- ・市内において資源ゴミの持ち去りが問題となっている、中には地域コミュニティの活動資金の収入源となっているものも持ち去られている、住民と持ち去り業者等とのトラブルが予想されるため条例制定により規制

○ 災害への準備

- ・公園などへの非常用トイレ（マンホールトイレ等）の設置
- ・被災地派遣職員等による自助・共助を強化する自治体単位の勉強会開催
- ・非常用トイレ等の市民配付

○ 公共交通政策の充実

- ・公共交通空白地への支援
- ・高齢者おでかけ支援の用途を含めたさらなる充実

○ 和泉府中駅周辺地域の活性化

- ・和泉市の玄関口である和泉府中駅周辺地域の活性化支援施策
- ・一時的な補助で無く公民一体での継続的な政策支援

○ 信太中学校区の一体的なまちづくり

- ・北信太駅前整備・鶴山台団地再生事業・信太山丘陵里山自然公園整備事業等、北部地区に関する事業にあわせ、子どもから高齢者まで活気があふれ住みやすい街を目指し信太中学校区の学校の将来像（合併や施設一体型小中一貫校の検討）を示すこと
- ・スマートエイジングシティ等高齢者も住みやすいモデル地区指定
- ・里山自然公園の開園にあわせ市内外からの来園者の増加が予想されることから、老朽化が激しい鶴山台地区の道路舗装等の一体的な整備、交通手段の確保
- ・北信太駅周辺地域に不足する食料品・生活用品等が購入できるスーパー等の誘致

○ 子ども達が自由に利用できる公園（令和5年度子ども議会提案事項）

- ・子ども達が自由に遊べる地域の公園
- ・都市部の公園でも子ども達が気兼ねなく思いっきり遊べるような構造的な変更や、市民理解を深める周知を行う
- ・先行的な取組によりこのような問題を解決している自治体等が存在していないか調査研究し、子育ての街和泉市から先進的な取組を発信する

○ HPV ワクチン・新型コロナウイルスワクチン等定期接種ワクチンのデータ分析結果とリスク部分の開示

- ・市が保有するデータを集計し市民へ公開
- ・予防接種健康被害救済制度や副反応疑い報告のホームページへの掲載及び更新

○ 投票率日本一の和泉市へ

- ・主権者教育及びシビックプライドを育む実践的教育の実施
- ・自治会等、地域イベント実施の積極的な推進
- ・市民主体市内広域イベント（いずみ市民祭り等）の実施
- ・これからの時代に即した投票の機会や手段の導入

○ 市政運営における圏域の見直し

- ・北東部・北西部・中部・南部に加え光明池駅利用圏域の追加

○ 山の谷伏屋線の歩道、自転車専用通行帯及び道路照明の設置

- ・池上下宮線整備が遅滞し、北部地区から南部地区等への交通及び防災の重要路線
- ・慢性化する渋滞緩和
- ・クラブ活動等学生の団体通行が多く、歩道及び自転車専用通行帯の設置
- ・道路照明の設置



会派視察報告 「山川地熱バイナリー発電所・知覧特攻平和記念館を視察」

「安全保障等」につき議論する際に、必ず議題としてあがるのは「食糧とエネルギー自給問題」国防を考えるうえで最優先事項として、国が対策しなくてはならない問題であると考えますが…市民の皆様もご存じのとおり、政府の本気度は一切感じられず、その場限りの対処療法と言える「バラマキ」に終始しています。

「市民未来の会」は考えました「食糧＝農業」「エネルギー＝発電」「少子化＝所得保障」等、国に任せるのではなく地方自治体でできることはないか？我々はすぐに情報を収集し、今回の視察研修プランを組むことになりました。

【山川地熱・バイナリー発電所】

市民未来の会は保守派無所属議員の会派、記念館では「語り部」による当時の体験談等、とても感慨深く、我々よりはるかに若く征った「英霊たちは、現社会を見てどう感じるか」という思いがつのります。

この施設などの歴史施設やその内容を包み隠さず利用し、和泉市の中高校生へ平和学習として取り入れることができないか会派で取り組んで参ります。

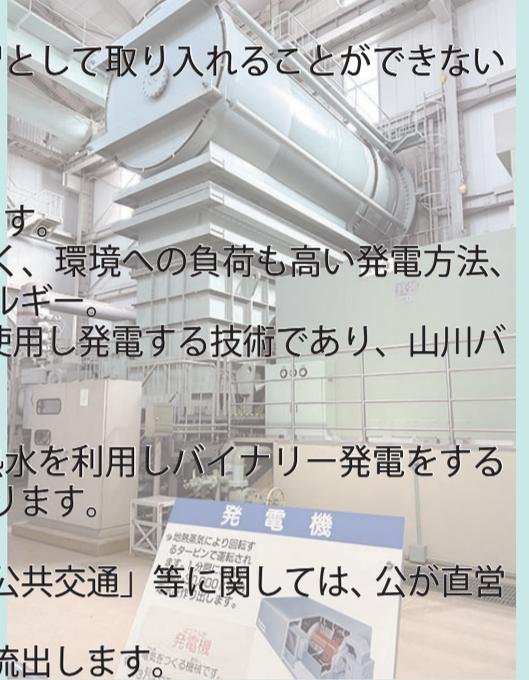
【知覧特攻平和記念館】

「火力・原子力・地熱・バイナリー」共通する仕組みは蒸気でタービンを回し発電します。「火力発電や原子力発電」は、同じ蒸気を使う発電であるのに危険が伴うだけでは無く、環境への負荷も高い発電方法、一方「地熱発電」は地熱で熱せられた蒸気を利用、安定的に供給されるクリーンなエネルギー。バイナリー発電とは沸点が低い液体（山川発電所ではペンタン：沸点36.1度）を使用し発電する技術であり、山川バイナリー発電所では地熱発電で得た熱水を再利用することにより発電しています。

和泉市には泉北クリーンセンターがあり発電を行っていますが、発電に利用された熱水を利用しバイナリー発電をすることも可能であると考えます、そうすると二次的な副産物としてさらなる電力が手に入ります。

日本が主権国として自立するためには生活に必要な「食糧・エネルギー・水・通信・公共交通」等に関しては、公が直営するのが妥当だと考えますが、国は次々と民営化し売り払っていきました。これらを資本主義の枠組みにのせてしまうと、生活に必要な資源が海外（外資）へと流出します。我々はこの視察で得た知をもって、行政に提言し議論していきます。

【行程】知覧特攻平和記念館→山川地熱・バイナリー発電所



おのばやし じさお
小野林 治三夫 LV72



- 議員歴** 7 期目
- 生年月日** 1953 年 5 月 22 日
- エリア** 和泉中学校区
- 信念** 「子どもは国の宝」
- 趣味** 読書・ゴルフ・酒肴
- 地域活動** 子どもを犯罪から守る
国府モデル地区会長
大阪府地域コーディネーター

たにがみ のぼる
谷上 昇 LV49



- 議員歴** 2 期目
- 生年月日** 1976 年 12 月 31 日
- エリア** 信太中学校区
- 理念** 子ども達が夢を持てる和泉市・
日本を市民と共に創る
- スポーツ経験** サッカー・ボクシング・
スノーボード・ダンス
- 地域活動** サッカー指導者・
信太連合顧問(だんじり祭)・
上代町前梃子

おおうら
大浦 まさし LV56



- 議員歴** 4 期目
- 生年月日** 1969 年 1 月 4 日
- エリア** 光明台中学校区
- 理念** 未来のまちづくりに貢献
批判より意見
→意見より行動
- 趣味** 魚釣り(全釣り協公認インストラクター)
食べ歩き(スイーツ男子?!です)

